



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和7年8月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年8月8日(金)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

1 令和7年度「しぶかわジェンダー平等推進表彰」の受賞者が決まりました
(資料1)

2 戦後80年の終戦記念日に平和映画上映会を開催します (資料2)

3 渋川市の情報発信力を高めるために広報広聴アンケートを実施しています
(資料3)

○次回開催予定

日時：令和7年8月18日(月) 午後1時

場所：渋川市役所本庁舎2階 庁議室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
8月4日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00 14:30	市長定例記者会見 フォローアップミーティング	市役所本庁舎 市役所本庁舎	広報室 政策戦略課
8月5日(火)	9:30	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
	13:30	渋川市まち・ひと・しごと創生検討会議	市役所本庁舎	政策戦略課
8月6日(水)	13:15	渋川市健康づくり推進協議会	市役所第二庁舎	健康増進課
8月7日(木)	11:00	渋川市地区赤十字有功会総会	市役所本庁舎	地域包括ケア課
8月8日(金)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	11:00 13:00	渋川山車まつり前夜祭 市長定例記者会見	中央公民館 市役所本庁舎	観光課 広報室
8月9日(土)	17:00	渋川山車まつり八幡上り出発式	国土交通省前交差点	観光課
8月10日(日)	15:00	渋川山車まつり八坂神社祭礼式典	四ツ角交差点	観光課
	17:00	渋川山車まつり解散式	新町五差路	観光課
8月11日(月)				
8月12日(火)				

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
8月12日(火)	15:00	広域組合10月補正予算 管理者・副管理者査定	広域組合事務所	広域組合
8月13日(水)				
8月14日(木)				
8月15日(金)	16:00	第79回国民スポーツ大会関東ブロック大会開始式(ソフトボール競技会成年男子)	群馬音楽センター	スポーツ課
8月16日(土)				
8月17日(日)				
8月18日(月)	9:00 13:00 終了後 終了後 15:00	庁議 (株)ベイシアとの災害時における物資の供給に関する協定締結式 しぶかわジェンダー平等推進表彰式 市長定例記者会見 監査委員から渋川市決算審査意見書の提出	市役所本庁舎 市役所本庁舎 市役所本庁舎 市役所本庁舎 市役所本庁舎	政策戦略課 危機管理室 政策戦略課 広報室 監査委員事務局

令和7年度「しぶかわジェンダー平等推進表彰」の受賞者が決まりました

職場、地域、家庭その他社会のあらゆる場面で、ジェンダーやセクシュアリティなどにとらわれず、誰もが過ごしやすい社会を実現する取り組みを表彰する「しぶかわジェンダー平等推進表彰」の受賞者が決まりました。

受賞された取り組みは、ジェンダー平等の身近なモデルとして、渋川市の広報紙やホームページ等を通じて広く周知していきます。

1 概要

渋川市が令和7年度から新たに実施する「しぶかわジェンダー平等推進表彰」は、ジェンダー平等の推進と、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現に向けた先進的な取り組みを顕彰する制度で、初年度となる令和7年度の受賞者が決定しました。

また、この表彰と併せて、女性の健康課題への対応と職場におけるジェンダー平等推進といった特定分野において顕著な功績があった取り組みを、「しぶかわジェンダーヘルス推進功労賞」として表彰します。

受賞された取り組みは、ジェンダー平等の推進に向けた身近なモデルとして、渋川市の広報紙やホームページ等を通じて広く発信していきます。

2 事業内容

(1) 募集内容

ジェンダー（社会的性別）やセクシュアリティ（性のあり方）、社会的慣行にとらわれず、誰もが過ごしやすい社会の実現に寄与する取り組み

(2) 応募数 7件

(3) 審査方法

政策戦略課において、「先進性」「波及性」「ジェンダー平等意識」「実効性・継続性」といった評価視点に基づき事前審査を実施し、有識者等からの意見聴取及び庁内での選考を経て、特に優れた取り組みを表彰対象として選定

3 しぶかわジェンダー平等推進表彰の受賞者と評価内容

(1) SWEET BOX

子育て中の女性が安心して働ける職場環境の整備に取り組み、柔軟な働き方を可能とすることで、育児と仕事の両立を支援しています。

女性のキャリア継続及び社会参画の実現に資する好事例であり、制度整備と実践の両面において先進的な取り組みとして高く評価しました。

(2) ユースセンターよはく SRHR推進メンバー

高校生が主体となって、SRHR（性と生殖に関する健康と権利）に関する啓発チラシを作成・配布しています。

若者の視点から同世代にジェンダー平等や性の健康に関する意識を広める活動は、次世代の市民による先進的な実践として非常に高く評価しました。

(3) ははーずの先生たち from ははーず

地域住民が講師となり、公民館等を活用して、地域のつながりを意識した学びと交流の場を提供しています。

多様な人材が活躍する場づくりを通じて、市民一人ひとりの自己実現と社会参画の機会を創出しており、地域に根ざした学び合いの仕組みとして高く評価しました。

(4) 群馬ヤクルト販売株式会社(渋川サービスセンター/渋川北サービスセンター)

「健康経営さくらMINTプロジェクト」を展開し、女性特有の健康課題への理解促進や、男性社員への意識啓発に取り組んでいます。

ジェンダー平等に配慮した職場環境の整備を組織全体で推進しており、健康経営優良法人認定制度「ブライツ500」の継続取得も含め、他の企業が模範とすべき優れたモデルケースです。

4 しぶかわジェンダーヘルス推進功労賞の受賞者と評価内容

群馬ヤクルト販売株式会社

「健康経営さくらMINTプロジェクト」は、従業員の健康を基盤にジェンダー平等の推進を図る先進的な取り組みです。

「ブライツ500」の継続取得は、高水準の健康経営を維持している証であり、従業員の健康増進や企業価値の向上にも大きく貢献しています。

女性の健康課題に組織として正面から取り組み、職場全体でジェンダー平等の意識を高めている姿勢は、「働きやすさと健康の両立」を目指す、これからの企業像として高く評価しました。

5 表彰式

- | | | |
|----------|--------------|---------------------|
| (1) 開催日時 | 令和7年8月18日(月) | 午後1時から(市長定例記者会内で実施) |
| (2) 開催場所 | 渋川市役所本庁舎2階 | 庁議室 |
| (3) 内容 | 受賞者への賞状の授与 | |

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：政策戦略課 (電話0279-25-8419)

課長 小野 篤史 (内線2420)

未来戦略係長 齋藤 大輔 (内線2423)

資料2

戦後80年の終戦記念日に平和映画上映会を開催します

2025（令和7）年は、先の大戦の終わりから80年の節目の年となります。
 渋川市は、市民に平和の尊さや大切さを訴え、平和推進の啓発を図るため、8月15日（金）の終戦記念日に「平和映画上映会」を実施します。
 当日は、広島と長崎への原子爆弾投下を題材としたドキュメンタリー映画「ヒロシマナガサキ WHITE LIGHT/BLACK RAIN」を上映します。

1 目 的

渋川市は、市民に平和の尊さや大切さを訴え、戦争の悲惨さを後世に伝えることで、恒久平和への理解と認識を高めることを目的に、毎年、平和アニメ上映会や平和推進啓発作文・ポスターコンクール事業などの平和推進事業を行っています。

令和7年度は、戦後80年に当たることから、これらの取り組みに加えて、8月15日（金）の終戦記念日に「平和映画上映会」を実施し、さらなる平和推進の啓発を図ります。

2 日 時 令和7年8月15日（金） 午後2時～午後3時30分
 ※開場は午後1時30分

3 会 場 金島ふれあいセンター ホール（渋川市金井1999）

4 内 容

- (1) 作品名 ヒロシマナガサキ WHITE LIGHT/BLACK RAIN
- (2) 制作年 2007年
- (3) 制作国 アメリカ合衆国
- (4) 上映時間 86分
- (5) 作品概要

広島・長崎の被爆者14人と、原爆投下に関与した米国側の関係者4人の証言を軸に、ヒロシマ・ナガサキの真実を描いた1本。日系3世であるスティーブン・オカザキ監督が、25年の歳月をかけて完成させた渾身のドキュメンタリー映画。
 （一部字幕があります）

5 定 員 200人（先着順）

6 入 場 料 無料 ※当日は直接会場へお越しください。

参考

1 過去の平和アニメ映画上映会入場者数

- ・令和4年度＝渋川公民館16人、金島ふれあいセンター63人
- ・令和5年度＝渋川公民館27人、金島ふれあいセンター76人
- ・令和6年度＝渋川公民館35人、金島ふれあいセンター71人

2 過去の平和推進啓発作文・ポスターコンクール応募数

- ・令和4年度＝作文149作品、ポスター211作品
- ・令和5年度＝作文70作品、ポスター185作品
- ・令和6年度＝作文83作品、ポスター178作品

■問い合わせ先

市民環境部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：市民協働推進課（電話0279-22-2463）

課長 小野 宏仲（内線4314）

自治活動支援・市民交流係 荒木 信彦（内線4315）

渋川市 特別事業

戦後 80 年 平和映画上映会

ヒロシマナガサキ

WHITE LIGHT / BLACK RAIN

8月15日(金) 金島ふれあいセンター

定員 200人

上映時間 午後2時 / 午後3時30分

開場 午後1時30分

〔上映作品〕

広島・長崎の14人の被爆者と、

原爆投下に関与したアメリカ人

4人の証言を軸に、ヒロシマ・ナ

ガサキの真実を描いた一本。

日系3世であるステイプ

ン・オカザキ監督が25年の歳月

をかけて完成させた渾身のドキ

ュメンタリー映画。(一部字幕が

あります)



令和6年度平和推進啓発 作文・ポスター
コンクール ポスター部門 最優秀作品

主催：渋川市 問い合わせ：市民環境部 市民協働推進課 0279-22-2463

渋川市の情報発信力を高めるために 広報広聴アンケートを実施しています

渋川市は、市の取り組む広報活動が多岐に渡っている中で、広報活動のあり方を検証し、全ての職員が一体となって広報活動に取り組む指針として、「渋川市広報戦略プラン」を策定しています。

現在、「渋川市広報戦略プラン」の改定に向けて、市民等を対象にしたアンケート調査を実施しています。市の情報を伝える「広報」と、市民等の皆さんの市政への意見を聴く「広聴」についての状況を確認し、市の情報発信力を高めることにより、よりよい広報広聴事業の展開につなげていきます。

1 概要

渋川市は、令和5年4月に策定した「渋川市広報戦略プラン（※）」の計画期間が、令和7年度で終了することから、令和8年4月にプランの改定を予定しています。

現在、プランの改定に先だって、市の情報を広く伝える「広報」と、市民等の皆さんの市政への意見を聴く「広聴」についての状況を確認するため、市民等を対象にした広報広聴アンケートを実施しています。

アンケート結果を新たな「渋川市広報戦略プラン」に反映させることで、従来の「伝える広報」から、ニーズを踏まえた「伝わる広報」へ転換し、市の情報発信力を向上させて、よりよい広報広聴事業の展開につなげていきます。

※「渋川市広報戦略プラン」とは

広報広聴活動を通じて、「市民との協働のまちづくりを進めるための市民とのコミュニケーション形成」及び「市の魅力を広く内外に発信し、市のイメージの向上とブランド化を目指すシティセールスやシティプロモーションの実施」を確実に実行するため、全ての職員が一体となって広報活動に取り組む指針として策定した計画です。

計画期間は令和5年度～7年度。

2 アンケート調査対象 市民及び市内在勤・在学の人

3 調査方法

市ホームページにアンケートフォームを掲載し、市民等にアクセスしてもらい、意見を入力し、送信してもらいます

アンケートフォームはこちらから▶



4 調査期間 令和7年8月1日(金)～8月31日(日)

5 アンケート内容

- (1) 市の情報の入手方法について
- (2) 市が行っている広報広聴活動について
- (3) 「広報しぶかわ」月1回発行での変化について
- (4) 市公式SNSの認知度について
- (5) 広報広聴事業に望むことについて

6 アンケート結果の主な活用方法

アンケートの結果は、「渋川市広報戦略プラン」改定の基礎資料とします。また、現在の広報広聴事業の見直しや廃止、新たな取り組みの参考とします。

7 周知方法

「広報しぶかわ」8月号及び市ホームページに掲載するほか、市SNSでの発信、市役所本庁舎等の市有施設にチラシを掲示します。

8 過去の実施状況

広報に関係するアンケートとしては、市の広報紙「広報しぶかわ」の編集内容や発行回数などの参考とするための市民アンケートを、平成29年度から不定期に実施してきました。

今回のような、「広報」と「広聴」に関する事業全般について尋ねるアンケート調査は、渋川市では初めてになります。

参考

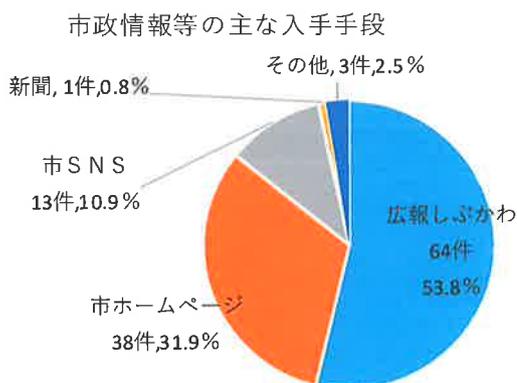
令和5年度「広報しぶかわ」市民アンケート結果概要（前回は令和3年度に実施）

1 市政情報等の主な入手手段

入手手段	回答数(件)	割合(%)	前回割合(%)	前回対比
広報しぶかわ	64	53.8	60.2	▲6.4
市ホームページ	38	31.9	30.7	1.3
市SNS	13	10.9	—	10.9
新聞	1	0.8	3.6	▲2.8
その他	3	2.5	5.5	▲3.0
合計	119	100.0	100.0	—

※その他の場合の入手方法

◇渋川ほっとマップメール ◇自治会の回覧板 ◇特にない



市政情報の入手手段としては、広報しぶかわが50%を超えて多くなっている。しかし前回調査時よりも6.4ポイント減り、逆にホームページやSNSでの情報入手が増えている状況にある。世代別でも広報しぶかわが満遍なく多くなっているが、ホームページと答えた世代にもばらつきはなかった。

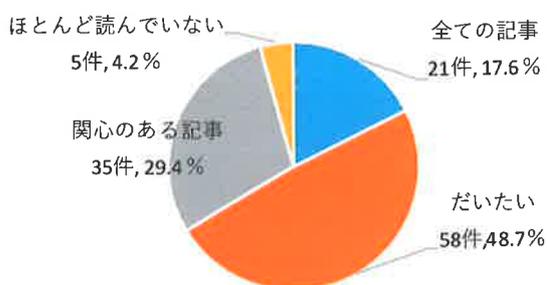
2 広報しぶかわを全部読んでいるか

区分	回答数(件)	割合(%)	前回割合(%)	前回対比
全ての記事	21	17.6	15.7	1.9
だいたい	58	48.7	47.8	0.9
関心のある記事	35	29.4	30.9	▲ 1.5
ほとんど読んでいない	5	4.2	5.5	▲ 1.3
合計	119	100.0	100.0	—

※ほとんど読んでいない理由

◇必要ない(2人) ◇つまらない ◇記事が多すぎる ◇必要な記事はネットで読む ◇内容がくだらない ◇文字ばかりで読みづらい

広報しぶかわを全部読んでいるか



全ての記事とだいたいを合わせると7割近くになり、読まれている割合が多くなっている。前回と比較しても、それらの割合は増えている。

3 広報しぶかわの読みやすさ

読みやすさ	回答数(件)	割合(%)	前回割合(%)	前回対比
読みやすい	103	86.6	87.8	▲ 1.3
読みづらい	16	13.4	12.2	1.3
合計	119	100.0	100.0	—

※読みづらい理由

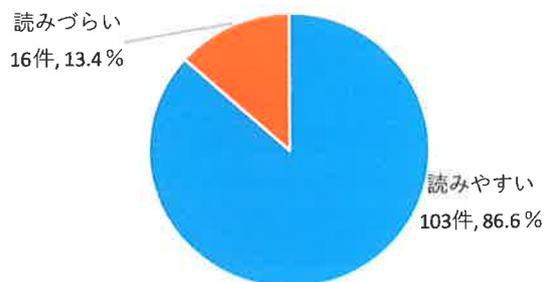
【複数回答】

◇文字・内容が多い(5人) ◇文字が小さい(2人)。

【その他の意見】

◇ページ数が多い ◇分からない ◇読みやすくも読みづらくもない ◇メリハリがない
 ◇縦書きなので桁数の多い数字など読みにくい部分がある ◇余白が少ない ◇写真が毎回スミっぽい(ちゃんと色調調整してほしい) ◇ケチらずお金かけてデザイナーを入れて作ってほしい ◇縦書きと横書きが混ざって統一感がない ◇フォントが見づらい ◇必要な情報が分散している ◇関心ない記事が多い

広報しぶかわの読みやすさ



読みやすいと回答した人が86.6%となり、非常に高い評価を得ている。しかし、前回からは1.3ポイント減少していることから、読みづらいとした意見への対応を検討する必要がある。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：広報室 (電話0279-22-2182)

室長 熊迫 徳三 (内線2419)

広報広聴係長 武井 香代 (内線2414)